

# 高校生エコカー走る

## 葵区で大会 電気や燃費の性能競う

県内の高校生が開発した自動車の環境への優しさを競う「第二十四回県高校生エコラン大会」が三日、静岡市葵区の県自動車学校静岡校であった。工業高

校を中心に十一校が参加し、力作を披露した。

十二歳のバッテリー二個を搭載した車で一時間に走った距離を競う電気自動車部門には

十二チームが出場。ドライパーは空気抵抗を減らすため細長く設計された車体に体を寝かせて乗り込み、一周四百十四分のコースを周回した。

八十四周で優勝した浜松城北工業高校「HJ07E」のドライパー

を務めた二年佐藤順弥さん(左)は「バッテリーの残量とスピードの調整が難しかったが、

優勝できてうれしい」と喜んだ。

ガソリン自動車部門もあり、十キ余りを走

って燃費の良さを競った。(松野穂波)

このほかの上位チームは以下の通り。

- 【電気】②島田工 AM
- ①16C③掛川工 掛工1号
- 【ガソリン】①浜松城北工
- HJ11G②吉原工 RE
- D LINE③吉原工 S
- KY BLUE



制限時間内に自作の電気自動車でどれだけ走れるかを競う出場者ら＝静岡市葵区の県自動車学校静岡校で

写真一番右側のマシンが掛工3年生の車です。

掛工3台とも無事完走しました。

昨年の記録を更新しての堂々の入賞でした。

# おはよう

県内の高校生が自作したエコカーの性能を競う「県高校生エコラン大会」の電気自動車部門に、掛川工業高校「掛工1号」のドライバーとして出場。一時間で三十一キロ余を走り、三位入賞した。

空気抵抗を極限まで減らした車体は、長さ二・九一メートル、幅〇・六四メートルと細長い。身長一六〇センチの小柄な体を夕

井 希 さん 15

県高校生エコラン大会3位掛川工高1年



## 運転技術磨き成果

ず、コーナーを厳しく突いたコース取りで疾走。週一回、掛川市の環境資源ギャラリー内にある練習場で運転技術を磨いてきた「成果が出た」とはにかむ。

一年生で出した好結果だが「後半、もう少し速いペースで飛ばせば良かった。まだ距離を伸ばせた」と振り返る。反省と経験を生かし、来年はさらに良い結果を出すつもりだ。

イヤやバッテリーの間作する。のわずかな隙間に横た。レースでは途中で動かしませんでした車もあつわらせ、ハンドルを操けなくなった車や、角た。それでもひるま

(松野穂波)